

国際協同組合年記念 国際シンポジウムのご案内

協同組合の経済的社会的インパクト：可視性をいかに高めるか

日時 2012年11月22日(木) 13:00~17:00

会場 東京・日比谷図書文化館大ホール

参加費 無料(定員200名,先着順)



国際協同組合年に際して、協同組合の経済的社会的インパクトを明らかにし、協同組合の可視性を高めることが求められています。このようなテーマについて欧州、北米の協同組合研究の第一人者をお招きして報告をいただき、日本の協同組合リーダー、研究者と討論を行うために国際シンポジウムを開催します。

バーチャル教授はロッヂデール組合150周年、ICA100周年および国際協同組合年の記念出版の著者であり、また、国連労働機関の委嘱を受けて報告書『協同組合とミレニアム開発目標』を執筆しています。ケティルソン教授はICA調査委員会委員長であり、カナダ社会的経済研究パートナーシップにおいてリーダーをつとめ、バーチャル氏とともに国連労働機関の報告書『金融危機の時代における協同組合ビジネスモデルの耐久力』を執筆しています。このゲストスピーカーの報告に対して小栗崇資氏によるコメントを行い、パネル討論を通じてヨーロッパ、北米と日本の実践から学びあうことをめざします。

主催

公益財団法人生協総合研究所

後援

JC 総合研究所, 農林中金総合研究所,
2012 国際協同組合年全国実行委員会

言語

日英逐次通訳

プログラム

13:00 主催者挨拶 生協総研生源寺理事長

13:10 第1報告: ジョンストン・バーチャル(スターリング大学教授)

14:10 第2報告: ルー・ハモンド・ケティルソン(サスカチュワン大学教授)

15:10 休憩

15:30 コメント: 小栗崇資(駒澤大学教授)

パネル討論(モデレーター: 栗本昭・生協総研理事)

17:00 終了

国際シンポジウム(11月22日開催) 参加申込書

申込日 月 日

団体名			
連絡先	TEL:	FAX:	E-mail:
お名前			役職

11月8日までにFAXかメールでお申し込みの上、会場まで直接お越し下さい。

事務局使用欄

月 日

担当

参加受付いたしました。

宛先

生協総合研究所 中村 行き (FAX 03-5216-6030)

※連絡・照会先: 03-5216-6025 中村・栗本

ccij@jccu.coop

報告者・コメンテーターの略歴



ジョンストン・バーチャル氏

イギリス・スターリング大学応用社会科学部教授。社会政策学博士。専門は協同組合、ミューチュアルの研究。ロッチデール組合150周年記念の『コープ:ピープルズビジネス』（大月書店、1997年）、ICA100周年記念の『国際協同組合運動』（家の光協会、1999年）および国際協同組合年の記念出版（近日翻訳出版予定）の著者。また、国連労働機関（ILO）の委嘱を受けて報告書『協同組合とミレニアム開発目標』、『金融危機の時代における協同組合ビジネスモデルの耐久力』を執筆。



ルー・ハモンド・ケティルソン氏

カナダ・サスカチュワン大学経営学部教授・同大学協同組合研究所長。経営学博士。専門は協同組合のマネジメント、ダイバーシティ。2007年からICA調査委員会委員長。2006年からのカナダ社会的経済研究パートナーシップにおいて大平原地域グループのリーダーをつとめた。主な著作は『カナダのアボリジニ協同組合の現状と可能性』（マクファーンソン教授との共著）、ILO報告『金融危機の時代における協同組合ビジネスモデルの耐久力』（バーチャル教授との共著）。



小栗崇資氏

駒澤大学経済学部教授。商学博士。専門は財務会計論、経営分析論。関連して株式会社論、生協論を研究。コープかながわのCRI研究所の研究員として調査・研究に従事し、現在は生協総研監事。主な著作は『アメリカ連結会計生成史論』（日本経済評論社、2002年（日本会計史学会賞受賞））、「新たな協同の再生—現代資本主義と人格のシステム」『現代生協改革の展望—古い協同から新しい協同へ』大月書店、2000年。

会場のご案内

都営地下鉄内幸町駅A7口、
東京メトロ霞ヶ関駅B2・C4口より歩4~6分、
日比谷駅A14口より歩7分
JR 新橋駅日比谷口より歩13分

